

【暖冷房負荷ファイルの内容】

平成 25 年 10 月に施行される住宅の省エネルギー基準では、住宅の躯体や設置される設備の性能を一次エネルギー消費量により評価することとなっています。ここに示す暖冷房負荷ファイルは、評価を支援するためのツール（算定用 WEB プログラム）において、暖房及び冷房の一次エネルギー消費量を計算する際に用いる暖冷房負荷データです。

暖冷房負荷ファイルの命名方法

各ファイルは以下の表記例に示すように、①～⑨の組合せで個別に名称をつけ、CSV ファイルで保存されています。

<ファイル表記例 : HH1×_11_01_212_1SS_FM.csv>

ファイル表記例 :	①		②		③		④		⑤		⑥		⑦		⑧		⑨	
	H	H	1	×	-	1	1	-	0	1	-	2	1	2	-	1	SS	
内容	全て H	暖房なら H、冷房なら C	地域区分	下記参照	アンダースコア	運転モード (11 ~ 13、15 ~ 16。冷房は 11 ~ 12 のみ)	アンダースコア	(02 ~ 11。冷房は 02 ~ 03 ~ 05 ~ 09 のみ)	断熱水準・熱交換換気の有無	アンダースコア	日射遮蔽 (1 ~ 3)	通風設定 (1 ~ 3 ~ 5。暖房は 1)	全て 2	アンダースコア	熱容量付加 (1 ~ 2)	下記参照	全て SS	

ファイル名における番号の意味（暖房）

番号	意味
②地域区分	1x = 1 地域
	2x = 2 地域
	3x = 3 地域
	4x = 4 地域
	5x = 5 地域
	6x = 6 地域
	7x = 7 地域
③運転モード	11=全館連続運転
	12=居室間歇運転
	13=居室連続運転
	15=LDK 居室連続運転、その他居室 居室間歇運転
	16=LDK 居室間歇運転、その他居室 居室連続運転
④断熱水準・熱交換換気の有無	02=断熱水準:昭和 55 年基準相当【 Q_1 】
	03=断熱水準:平成 4 年基準相当【 Q_2 】
	04=断熱水準:平成 4 年基準相当【 Q_2 】、熱交換換気あり
	05=断熱水準:平成 11 年基準相当【 Q_3 】
	07=断熱水準:平成 11 年基準相当【 Q_3 】、熱交換換気あり
	09=断熱水準:平成 11 年基準超相当【 Q_4 】
	11=断熱水準:平成 11 年基準超相当【 Q_4 】、熱交換換気あり
⑤日射遮蔽	1=日射遮蔽レベル:小(参考仕様:開口部遮蔽なし)【 $\mu_{j,3}$ 】
	2=日射遮蔽レベル:中(参考仕様:開口部にレースカーテン)【 $\mu_{j,2}$ 】
	3=日射遮蔽レベル:大(参考仕様:開口部外側に外ブラインド)【 $\mu_{j,1}$ 】
⑥通風設定	1=通風無し
⑧熱容量付加	1=蓄熱なし【 TS_0 】
	2=蓄熱あり【 TS_1 】

※【】内の記号は本文中における数式記号の添え字を表す。

ファイル名における番号の意味（冷房）

番号	意味
②地域区分	1x = 1 地域
	2x = 2 地域
	3x = 3 地域
	4x = 4 地域
	5x = 5 地域
	6x = 6 地域
	7x = 7 地域
	8x = 8 地域
③運転モード	11=全館連続運転
	12=居室間歇運転
④断熱水準・熱交換換気の有無	02=断熱水準:昭和 55 年基準相当【 Q_1 】
	03=断熱水準:平成 4 年基準相当【 Q_2 】
	05=断熱水準:平成 11 年基準相当【 Q_3 】
	09=断熱水準:平成 11 年基準超相当【 Q_4 】
⑤日射遮蔽	1=日射遮蔽レベル:小(参考仕様:開口部遮蔽なし)【 $\mu_{j,3}$ 】
	2=日射遮蔽レベル:中(参考仕様:開口部にレースカーテン)【 $\mu_{j,2}$ 】
	3=日射遮蔽レベル:大(参考仕様:開口部外側に外ブラインド)【 $\mu_{j,1}$ 】
⑥通風設定	1=通風無し【 NV_1 】
	3=通風あり:換気回数 5 回/h 相当 (全館連続運転はなし)【 NV_2 】
	5=通風あり:換気回数 20 回/h 相当 (全館連続運転はなし)【 NV_3 】
⑧熱容量付加	1=蓄熱なし

※【】内の記号は本文中における数式記号の添え字を表す。

ファイルの内容

ファイルの内容は以下のとおりです。

A(1列) : 日付

B(2列) : 時刻

C(3列) : 平日と休日の別

D(4列) : 外気温度 [°C]

E(5列) : 絶対湿度 [g/kg']

以降は、各室で共通

F(6列) : 暖冷房負荷のスケジュール (「ON」の場合に暖房運転または冷房運転)

G(7列) : 顯熱負荷 [kJ/h] (マイナス表記は冷房負荷)

H(8列) : 潜熱負荷 [kJ/h]

暖冷房負荷と暖冷房区画の対応関係

列番号	解説書における区画番号	暖冷房負荷ファイルにおけるヘッダー名称
6~8	5	和室
9~11	1	LD (※1)
12~14	1	台所 (※1)
15~17	6	浴室
18~20	7	1F 便所
21~23	8	洗面所
24~26	9	ホール (※2)
27~29	10	クローゼット
30~32	4	主寝室
33~35	2	子供室 1
36~38	3	子供室 2
39~41	9	2F ホール (※2)
42~44	ND	階間(L4) (※3)
45~47	11	2F 便所

※1 区画番号 1 の LD 及び台所は両列の暖冷房負荷を合計したものを区画番号 1 の暖冷房負荷とします。

※2 区画番号 9 のホール及び 2F ホールは両列の暖冷房負荷を合計したものを区画番号 9 の暖冷房負荷とします。

※3 暖冷房負荷ファイルにおける「階間(L4)」列は使用しません。